

令和6年度第2回学術講演会のお知らせ

豊島区歯科医師会では下記の通り学術講演会を行ないます

日時：令和7年2月13日（木）19時半から

場所：豊島区歯科医師会会館3階ホールおよびZOOMでの同時配信

講師：東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 口腔機能再構築学講座 口腔再生再建学分野 丸川 恵理子教授

・当科で行っているインプラント治療と骨造成 ・歯の移植・再植の有用性

歯科インプラント治療における骨造成手術は自家骨ブロック移植やチタンメッシュプレート等の補強材を介した自家海綿骨移植が行われてきましたが、骨補填材や吸収性メンブレンの開発・承認で、現在では大掛かりな骨造成手術は我々の施設でも稀な状況となっています。チタンメッシュメンブレンや遮断膜を使用する際、スクリューやピンを使用していますが、比較的高度な技術を要し、造成したい部位がスクリューやピンにより陥凹してしまう場合があること、インプラント埋入時などに除去が必要なことから、極力吸収性の遮断膜を使用し、吸収性の縫合糸で固定するようにして、手術時間の短縮や手術範囲や回数を減らすように努めています。さらに、All on-4といった確立されつつある全顎インプラント治療により、骨移植量を大幅に減少できる方法やインプラントの表面性状や形態の改良により、より短いインプラントの使用が可能になったこともその要因となっています。今回、我々が目指す患者背景に応じた低侵襲な骨造成について提示させていただき、その上で、やはり大掛かりな骨造成が必要な症例についても供覧したいと思います。ショートインプラントも入れることができない下顎臼歯部や上顎の審美領域の症例、上顎洞底挙上術だけでは不十分な症例、All on-4ができないほど骨が萎縮している症例などが挙げられます。また、インプラント治療とは違った歯の移植・再植の有用性に関しても触れたいと思います。

略歴等

1997年 東京医科歯科大学歯学部卒業

2000年 ドイツFreiburg大学顎顔面外科に留学

2000年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了

2000年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 口腔外科医員

2002年 日本学術振興会 特別研究員

2004年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎口腔外科学分野 助教

2013年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 口腔外科 講師

2014年 ドイツFreiburg大学顎顔面外科に留学

2017年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎口腔外科学分野 准教授

2021年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔再生再建学分野 教授

現在に至る。



お名前

日歯生涯研修 ID (ZOOM 参加の方)

会館参加

ZOOM 参加

ZOOM ミーティングID 937 2132 3875 パスコード:746858

・会館での参加は先着順までとさせていただきます。

・ZOOM参加の先生は日歯生涯研修登録のため出欠確認をいたします。

聴講中出席者のお名前が確認できるように設定してください。

登録医ホームページの掲載希望される方はURLをご記載ください ()

参加ご希望の方は事務局 (03-3941-2544) までFAXにてお申し込みください。